

令和7年度久々野小学校 学校経営の全体構想

【学校課題】

- ◆考えをもち、対話を通して考えを深め、課題解決をする子の育成
- ◆願いをもち、達成に向けて、仲間とともに粘り強く取り組む力の育成
- ◆互いのよさを認め合う子の育成

【学校の教育目標】

かしこく
なかよく
たくましい 久々野っ子

【高山市教育の方針と重点】

未来社会を創造する資質・能力を身に付け、学び続ける子
【重点】持続可能な社会の創り手の育成
【キーワード】～対話から議論へ～
「あこがれ」「やりがい」「できること」

(めざす学校像)

学びを楽しむ学校

～ 自分で 自分から 自分たちで ～

<育てたい資質・能力>

「自分で考え、対話を通して 粘り強く 課題解決する力」

<学習指導の重点>

「学び」各教科の学習内容

新たな発見や気づきを「楽しむ」

- ・必然性があり学習意欲が高まる課題づくり
- ・対話隊形（グループ、ペア、考え方別など）
↓よりよい考えを生み出すために
- ・対話活動の視点を明確にして議論へ
- ・考えの深まりが実感できる評価

<道徳>

- ・自己を見つめ、考えを深め合う
- ・個の実態に焦点を絞った展開の工夫

<生活指導の重点>

「学び」お互いの違いを認め合う

すべての人との関わりを「楽しむ」

- ・あいさつ活動の充実
(自然で気持ちのよいあいさつへ)
- ・お互いの良さを認め合う心地よさの定着
- ・なりたい自分に向かってひたむきに努力
- ・自分の考えを語りきるための表現力の育成

<縦割り活動>

- ・発達段階に応じたリーダーの育成
- ・縦の絆を通して、全児童の居場所づくり

<命を守り切り、児童、教職員ともに心身が満たされた状態の学校>

- いじめ・差別・暴力を絶対に許さない指導と即日に誠実な対応
- 特別支援教育の充実と全教職員による支援体制の確立（関係諸機関との連携）
- 保中と地域と連携した命を守る活動の継続（命を守る訓練・引き渡し訓練）
- 「子どもたちのために」と「自分の生活やキャリアアップ」を両立した温かい職場環境

<教師の構え>

Key：いのち一番・にこにこ二番

児童理解・情報共有・共通理解・チーム行動

- ① 児童理解と情報共有を基盤に、児童の考え、意識、行動をつなぐ。
- ② 児童が、願いやなりたい自分に向かい、自ら挑戦し努力する姿や過程を価値づける。
- ③ 児童の変化を見逃さず「気にかける」「見届ける」「価値づける」ことで、成長を支援

<郷土教育>郷土教育の確かな実践とカリキュラムの充実

<地域・保護者・保中との連携>

保護者・地域・学校で生み出す「われらの久々野小学校♪」

【地域の願い：学校運営協議会】育てたい子どもの姿：地域や人を大切に作るたくましさのある子
・安心安全を確保する地域人材との連携 ・学びを支える地域人材の活用 ・命を守る行動の共通理解と実践
・地域の願いをもとに運営するコミュニティスクールの推進（学校運営協議会・久々野の子どもを育てる会・まちづくり協議会）

【保護者の願い】願う子どもの姿：困難や失敗を恐れず挑戦する・思いやり、共感力をもつ
挨拶や感謝を大切にする・元気でたくましい子

・子どもの成長を支える生活習慣の確立 ・学習習慣づくりと情報モラル推進への取組 ・ともに学ぶ